

2024年度 エコアクション21 環境経営レポート

【 第3回 】

【活動期間：2024年1月～2024年12月】



建設業・収集運搬業
株式会社水元設備



発行日：2025年1月7日

～ 目 次 ～

1. 組織と事業活動の概要	…	P.1～P.3
2. 実施体制	…	P.4
3. 環境経営方針	…	P.5
4. 環境経営目標	…	P.6～P.7
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	…	P.7～P.8
6. 環境経営計画の取組み状況とその評価	…	P.9
7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	…	P.10～P.15
8. 代表者による全体の評価と見直し	…	P.16

1. 組織と事業活動の概要

組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社水元設備

代表者 鈴木 秀樹

(2) 所在地

本社

東京都葛飾区西水元1-8-5

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 笹川 春男

TEL:03-3600-4332

担当者 土谷 真白

FAX:03-3600-4819

E-mail: mer185.info@gmail.com

HP : <http://www.mizumotosetsubi.com>

(4) 事業内容

給排水衛生設備工事・電気工事・空調調和工事・貯水槽清掃・産業廃棄物収集運搬業
排水管高圧洗浄・配管調査・水道申請施工図作成・解体工事・リフォーム工事

(5) 建設業許可

- ・東京都知事 許可(特-1)第65883号 管工事業
- ・東京都知事 許可(般-1)第65883号 消防施設工事業

(6) 登録品目

東京都指定給水装置工事事業者
東京都指定排水設備工事事業者
東京都産業廃棄物収集運搬業
埼玉県産業廃棄物収集運搬業
千葉県産業廃棄物収集運搬業

(7) 法人設立年月日

昭和54年12月20日

(7) 事業規模

グループ会社

株式会社 江戸設備

所在地 東京都江戸川区松江七丁目18番23-206号

創立 平成26年9月

株式会社 令和設備

所在地 東京都足立区東和四丁目24番17号

創立 令和1年9月

3社全体合計

資本金 6,000万円

年間売上高 19億3,385万円

従業員数 36名

(8)認証・登録の対象範囲

認証・登録日:2023年3月27日

対象事業者:株式会社水元設備・株式会社江戸設備・株式会社令和設備

【産業廃棄物排出量】

対象年月日:2024年1月～12月

水元設備

品目	数量
混合廃棄物(管理型)	26.0t
廃プラスチック	3.15t
金属くず	59.06t
紙くず	0.19t
雑誌	0.59t
ダンボール	5.27t
ガラス・陶磁器くず	2t

江戸設備

品目	数量
木くず	2.75t
がれき類	3.7t
混合廃棄物(管理型)	12.0t
廃プラスチック	2.1t
金属くず	4.52t
廃石膏ボード	2.0t
ガラス・陶磁器くず	2.5t

【産業廃棄物収集運搬許可車両】

水元設備

	車両名	車両番号	車体の形状
1	三菱回送車	足立400ち6577	
2	いすゞ3tダンプ	葛飾410さ185	ダンプ
3	トヨタダイナ2tダンプ	足立430さ185	ダンプ
4	トヨタダイナ施工車	足立430す185	
5	ダイハツ軽トラック	足立41あ439	キャブオーバー

江戸設備

	車両名	車両番号	車体の形状
1	スズキキャリィ銀トラ	足立483う185	

【産業廃棄物収集運搬量】

対象年月日:2024年1月～12月

水元設備

品目	数量
建設発生木材	1.375t
がれき類	10.0496t
建設混合廃棄物	33.50t
廃プラスチック	1.820t
ガラス・陶磁器くず	13.00t
合計	59.74t

【産業廃棄物収集運搬許可証】

東京都：許可番号 第13-00-177019号

有効期限 令和11年6月12日

事業範囲 (1)業の区分

収集・運搬(積替え保管を除く。)

(2)産業廃棄物の種類

廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラス・
コンクリート・陶磁器くず・がれき類(水銀使用製品産業廃棄物を含む)

千葉県：許可番号 第01200177019号

有効期限 令和11年6月23日

事業範囲 (1)業の区分

収集・運搬(積替え保管を除く。)

(2)産業廃棄物の種類

廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・
コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
(水銀使用製品産業廃棄物をを含み、自動車等破砕物を除く)

埼玉県：許可番号 第01100177019号

有効期限 令和11年6月26日

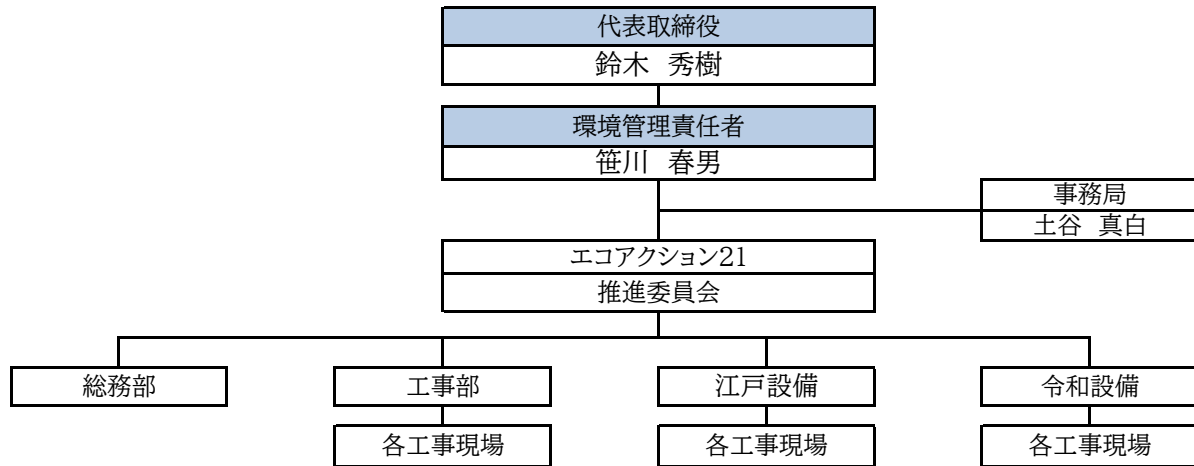
事業範囲 (1)業の区分

収集・運搬(積替え保管を除く。)

(2)産業廃棄物の種類

廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・
コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
(水銀使用製品産業廃棄物をを含む)

2. 実施体制



エコアクション21役割・責任及び権限

代表取締役	・環境経営に関する総括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体評価及び目標見直しを実施する ・環境経営レポートを承認する ・課題とチャンスの表明・明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用・管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守評価結果を承認する ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態を特定し、対応策を承認する ・問題点に対する是正処置、再発予防 ・環境経営レポートの確認をする
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書類作成・管理 ・環境経営に関する目標・実績集計 ・環境関連外部との窓口 ・環境経営レポートを作成する
エコアクション21推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画を共有する ・効果的な活動を推進するため、各部門間の連携を図る ・環境活動に関する意見交換
各部門	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の活動に必要な手順書を作成、管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などを理解し自らの役割を理解する ・環境活動に自主的、積極的に参加し、改善提案に努める

3. 環境経営方針

<基本理念>

株式会社水元設備は、建築付帯設備(空調・冷暖房・給排水・防災等)の設計・施工・管理を手がけています。

建築付帯設備は建物の生命を司る重要な部門であり、その機能が安全かつ快適に使用出来るように調和して作動する使命を帯びており、

その目的に合致した責任施工を行うべく、絶えず技術の向上を心がけています。

スピーディーな対応と同時に、お客様がいつも安心して諸設備をご使用頂けるように努めています。

お客様のニーズに的確に応えるため「信頼性」「安心感」「満足感」頂けるような高品質な製品の提供を目指すことを社員一同使命としています。

<行動指針>

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

(1) 電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。

(2) 産業廃棄物収集運搬における効率的な業務に努める。

(3) 事業所・建設工事における産廃物排出量の削減及びリサイクルに努めます。

(4) 水資源を大切に節水に努める。

(6) 環境に配慮した施工方法を推進し、環境配慮の材料を使用する。

(5) 事務用品のグリーン購入、一般廃棄物の排出量削減を推進します。

(6) 地域貢献活動に積極的に取り組みます。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日:令和6年1月1日

株式会社水元設備

代表取締役 鈴木 秀樹

4. 環境経営目標(年間)

環境 経営 方針 番号	選択課題		基準年度	目標値		
			2021年度実績	2022年度	2023年度	2024年度
			単位	基準年度比	基準年度比	基準年度比
1	二酸化炭素排出量削減	事務所	60072	59472	59170	65000
			kg-CO2	△1%	△2%	8%
1-1	電力消費量削減	事務所	20,676	20,470	20,471	19,530
			kWh	△1%	△1%	△6%
1-2	ガソリン消費量削減	事務所	14,940	14791	15169	14770
			ℓ	△1%	1%	△2%
1-3	軽油消費量削減	事務所	9,009	8109	8923	8870
			ℓ	△1%	△1%	△2%
2	建設廃棄物排出量削減	現場	減らす	減らす	減らす	減らす
	収集運搬の効率管理	現場	計画的配車	計画的配車	計画的配車	計画的配車
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	26	27	42.4	30
			%	産廃物のリサイクルに努める	産廃物のリサイクルに努める	産廃物のリサイクルに努める
4	水使用量削減	事務所	720	713	690	460
			m³	△1%	△5%	△37%
8	社会貢献活動	事務所	0	社会貢献活動への積極的参加に努める	社会貢献活動への積極的参加に努める	社会貢献活動への積極的参加に努める
		現場	0			

※環境配慮の材料を使用するのは数値化が難しいので、別途管理していく。

※電力の二酸化炭素排出係数=東京電力2021年度 0.452kg-CO2/kWh(調整後排出係数)

※灯油とLPGガスは使用量が微量(0.1%以下)なので、目標には設定せず、日常で管理していく。

5.環境経営目標、環境経営計画の結果に対する評価、次年度の取組み内容

試行期間2024年1月～2024年12月

No.	環境経営目標		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間計
1	二酸化炭素排出量削減 前年(基準年度対比) △1% 単位:kg-CO2	前年度	5548.5	5553.1	5539.9	5595.8	5498.9	5523.5	5575.4	5542.8	5547.1	5,584.9	5,682.4	5,519.6	66711.85
		目標値	5300	5400	5350	5500	5450	5400	5500	5450	5350	5,450.0	5,450.0	5,400.0	65000
		実績	5578.85	5095.47	5740.45	6194.54	5811.7	6650.05	5618.08	7870.46	6313.09	7,940.01	6,486.01	4,019.91	73318.62
		結果	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
	評価	二酸化炭素排出量削減目標は計画通り削減することができた。次年度は目標値を低く設定しより削減できるよう努める													
1-1	電力消費量削減 前年(基準年度対比) △1% 単位:kWh	前年度	1713	1719	1714	1710	1710	1708	1705	1703	1710	1708	1702	1719	20521
		目標値	1650	1600	1630	1620	1640	1630	1620	1600	1650	1640	1620	1630	19530
		実績	767	766	751	450	318	381	547	567	539	467	674	1185	7412
		結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	評価	電力消費量も計画通り削減することができた。引き続き無駄な電力を使用しないよう社員一丸となって努めていく													
1-2	ガソリン消費量削減 前年(基準年度対比) △1% 単位:ℓ	前年度	1260.07	1224.33	1269.68	1224.98	1287.58	1200.97	1270.01	1250.13	1252.12	1189.07	1262.04	1244.02	14935
		目標値	1240	1230	1240	1220	1230	1220	1260	1230	1230	1220	1220	1230	14770
		実績	1150.48	1050.13	1098.54	1133.95	1048.4	1317.26	1297.91	1621.84	1394.29	1500.49	1207.46	942.49	14763.24
		結果	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
	評価	目標は未達成だった。工事件数の増加に伴い、ガソリン消費量増加となった。運用期間が短いため、取り組みは継続する。また、エコドライブを推進していく。													
1-3	軽油消費量削減 前年(基準年度対比) △1% 単位:ℓ	前年度	738.21	738.42	742.01	745.23	735.79	738.23	736.63	740.81	739.27	740.09	739.66	737.65	8872
		目標値	740	730	740	740	740	750	730	740	730	750	740	740	8870
		実績	994.92	897.97	1107.03	1303.34	1254.76	1327.01	915.67	1493.93	1099.77	1647.33	1311.4	505.29	13858.42
		結果	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
	評価	目標は未達成だった。工事件数の増加に伴い、重機等の使用が増加した。運用期間が短いため、取り組みは継続する。また重機の効果的な使用方法を検討していく。													
2	建設廃棄物排出量削減 単位:%	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
		実績	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97.50%	100%	98.8%	100.0%	100.0%	99.7%
		結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	社員全員で分別に取り組み、再資源化を推進した。運用期間が短いため、取り組みは継続する。また、再資源化に対する社員の意識向上を推進していく。												
	収集運搬の効率管理 計画的配車	目標値	計画的配車												
実績		計画的な配車を実施した。													
結果		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
評価		計画的な配車をしたことにより達成できた。計画的な配車は生産性の向上、交通事故防止、顧客満足度など、多岐に渡り重要な事項である。アルコールチェック等含めて今後とも適切な配車に努めていく。													
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上	前年度	49.5%	59.1%	80.3%	32.1%	19.8%	24.5%	22.6%	58.3%	100.0%	20.6%	100.0%	95.9%	42.4%
		目標値	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%
		実績	100.0%	60.0%	65.7%	39.7%	24.4%	47.7%	23.0%	9.9%	100.0%	100.0%	100.0%	67.9%	51.7%
		結果	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○
		評価	より一層分別に努めます。												

環境経営目標、環境経営計画の結果に対する評価、次年度の取組み内容

試行期間 2024 月 1月 ～ 2024 年 12 月

No.	環境経営目標		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間計
4	水使用量削減 前年(基準年度対比) △ 1% 単位:m³	目標値		80		70		75		70		85		80	460
		実績		21		20		19		19		17		17	113
		結果		○		○		○		○		○		○	○
		評価	目標達成した。次年度は目標値を低くして引き続き水使用量の削減に努める												
8	社会貢献への参加 前年(基準年度対比) 1件以上 単位:件	前年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		実績	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	目標達成となった。毎月、実施して取り組む事ができた。社会貢献は地域との共生を意味しており、活動としてもやりがいがある。今後とも、月一回の活動を推進していきたい。												

結果の記載 ： 達成=◎または○(一部課題あり) 未達成=×または△(一部成果あり)

評価は試行期間の実績と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

その際、目標未達成の課題は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

6.環境経営計画の取組み状況とその評価

評価判定:○＝出来た △＝改善の余地あり ×＝出来なかった

環境経営方針番号		環境経営目標課題	具体的な行動(活動)	事務所	現場
1	1-1	電力消費量削減	・不在時の消灯の徹底	○	○
			・使用時以外のトイレ、会議室等の消灯	○	○
			・冷暖房の適切な温度設定	△	△
			・OA機器の退社時の電源オフ	○	○
			・節電の表示を行う	○	○
	1-2	ガソリン消費量削減	・エコドライブの推進	○	○
			・タイヤの空気圧など定期点検	△	△
			・法定速度の遵守	○	○
			・アイドリングストップの推進	○	○
	1-3	軽油消費量削減	・エコドライブの推進	○	○
			・タイヤの空気圧など定期点検	△	△
			・法定速度の遵守	○	○
			・アイドリングストップの推進	△	○
2		廃棄物の再資源化の推進	・再生紙、裏紙の使用	○	○
			・使い捨て製品の購入の抑制	○	○
			・コピー機のトナーカートリッジの回収・リサイクルの推進	○	○
			・現場で発生した資材等の再利用、廃棄物のリサイクル	-	○
			・適正なマニフェスト管理を行う	○	○
		収集運搬の効率管理	・管理者による計画的配車	-	○
			・担当者は、安全かつ経済的ルートを選択する	-	○
3		産業廃棄物のリサイクル率の向上	・各処分場所ごとに張り紙をした	○	○
			・どこに何を入れるのか分かりやすく分け	○	○
			・会議や朝礼で日々分別、リサイクルするように促す	○	○
4		水使用量削減	・節水の表示を行う	○	○
			・清掃時のバケツの使用	△	-
8		社会貢献活動	・所属団体や公共機関のボランティアに積極的に参加する	○	○
			・会社・現場周辺の清掃	○	○

7. 環境関連法規等の順守状況の確認

遵守評価日 2024年 12月 16日

確認者 鈴木 秀樹

当社の事業経営活動に適用される主な関連法規は、以下の通りです。

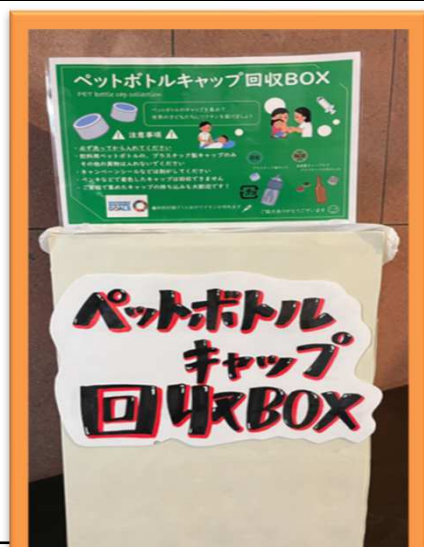
基準:○できた △一部達成 ×できなかった

法律等の名称	当社に適用される要求事項	チェック担当者	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託基準	澁谷	○
	産業廃棄物管理票	土谷	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	土谷	○
	水銀の適正処理	下谷	○
建設リサイクル法	建設工事の事前届出	土谷	○
大気汚染防止法	石綿含有建材・事前調査結果報告システム	高井	○
騒音規制法	特定建設工事の事前届出	浜田	○
	規制基準の遵守義務	川本	○
フロン排出抑制法 (解体工事)	解体前の特定施設の事前調査 フロン処理後の特定施設の解体	笹川	○
振動規制法	特定建設工事の事前届出	井上	○
	規制基準の遵守義務	下谷	○
道路交通法	道路の使用の許可	土谷	○
道路法	道路の占用の許可	土谷	○
消防法	危険物等の管理	荒井	○
化学物質排出把握 管理促進法	化学物質のSDS管理・使用量把握	荒井	○

・遵守状況を確認した結果、環境関連法規は遵守されていました。

活 動 状 況

【ペットボトルキャップからワクチンへ】



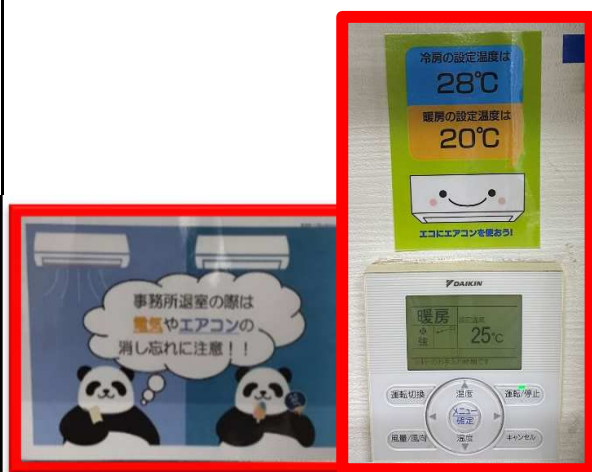
弊社ではペットボトルキャップを回収してワクチンに変える活動を行っています。一定量キャップが貯まったら、区役所に渡し、そこから団体に寄付してもらいます。

【節水への注意喚起】



本社の事務所や現場事務所内の手洗い場各所に節水の注意喚起の貼り紙をして社員に呼び掛けています。

【節電への注意喚起】



本社の事務所や現場事務所内の扉や電気のスイッチがある場所に節電の注意喚起の貼り紙をして社員に呼び掛けています。

【ボランティア活動】



弊社では定期的に会社周辺のゴミ拾い活動を社員の家族と一緒にしております。ゴミ拾い以外のボランティア活動等も随時行っております。

活 動 状 況

【防災訓練】



区役所で開催している防災訓練に定期的に
参加しています。また2023.11.16の上級救
命技能講習にも積極的に参加しています。

【防災リュック常備】



会社用と車用のリュックをそれぞれ常備し、
社内外で災害が起きた際に常に対応できる
ようにしています。社内でも防災グッズの使
用方法についての講習会も行っています。

活 動 状 況



【太陽光発電システム・蓄電池システムの設置】

弊社が所有する建物MER壱番館に太陽光発電システムと蓄電池システムを設置しています。
必要な電力を自分たちで作ることで環境負荷を減らすことに貢献します。
また、持続可能な地球環境を次世代に残していくことを目的としています。



【使用済み切手の回収】

弊社では使用済みの切手を回収し、ワクチンを回収する団体へ寄付しております。
一定量たまったら郵送で団体へ送付し、団体より切手収集家へ換金されます。
換金後、ワクチンを子供たちに届けることができます。

活 動 状 況

【現場活動】



【産業廃棄物の分別】

弊社では現場でも張り紙をして、産業廃棄物の分別を心がけております。



【節水への注意喚起】

現場事務所内の手洗い場各所に節水の注意喚起の貼り紙をして社員に呼び掛けています。



【節電への注意喚起】

現場事務所内の扉や電気のスイッチがある場所に節電の注意喚起の貼り紙をして社員に呼び掛けています。

代表者による全体評価と見直し結果

評価対象の期間	2024 年 1 月 ～ 2024 年 12 月		
見直し実施日時	2024年 12月 18日(水) 10時～	場所	株式会社 水元設備
出席者	代表者 鈴木 秀樹		
	環境管理責任者 笹川 春男		
	事務局 土谷 真白		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった。	問題なし。 今後も強化する。
2 環境経営目標の達成状況	工事件数の増加に伴い、燃料の使用、CO ₂ 排出量が増加。エコドライブを心掛ける	各車にエコドライブ推奨のシールを貼り、社員一丸となって環境活動に取り組めるよう、今後も強化する。
3 環境経営計画の実施状況	引き続き徹底していく。	社員一丸となって環境活動に取り組めるよう、今後も強化する。
4 問題点の是正、予防の状況	定期的に会議を実施し協議、対応していく。	会議で出た課題に対処できるように今後も強化する。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	引き続き苦情に早急に対応する	今後も周辺の環境に気を付けながら、継続していく。
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	特に問題はなかった。	問題なし。
7 その他	特になし	特になし。

見直しの必要性判断と代表者の指示	①環境経営方針	継続する。
	②環境経営目標	強化する。
	③環境経営計画	強化する。
	④実施体制	継続する。
	その他、環境経営システムの円滑な運用を維持するために必要な、見直し、留意ポイントの指示	特になし。